第十八講　実践演習⑻『夜の鶴』

次の文章は、鎌倉時代の女性歌人である阿仏尼が、夫の歌論を紹介するという形で著わした歌道書の一部である。これを読み、設問に答えよ。

まづ歌をよまむ人は、ことにふれて情を先として、もののあはれを知り、つねに心をすまして、花の散り、木の葉の落つるをも、露しぐれ、色かはる折ふしをも、目にも心にもとどめて、歌の風情を起(た)ち居につけて、心をかくべきにてぞ候ふらむ。

また、四季の歌には、A そらごとしたるわろし。ただ、ありのままのことを、やさしくとりなしてよむべし。恋の歌は、利口、そらごと多かれど、わざとも苦しからず。「枕の下に海はあれど」「胸は富士袖は清見が関」とも、ただ、思ひの切(せち)なる風情をいはむとて、いかほどもよそへいはむこと、四季の歌にことなるべし、と申され候ひき。

また、四季の歌のそらごとも、やうによるべし。遍昭(へんぜう)僧正の「玉にもぬける春の柳か」などよまれたるをはじめて、「有明の月と見るまでに吉野の里にふれる雪」、花を「雲に似たり」ともとりなすことどもは、いつはりながら、まことにさおぼゆることなれば、［X］。さらでは、なきことをよむべからずといふことも、よくよく心得分くべきにや。

また、「故郷」といふ題にて、「ふるさと」とばかりよむこと、つねのことなめれど、ただの歌にも、ふるさとなどよむこと

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

なれば、さして「故郷」といはむ題にては、「奈良の宮」とも、「難波（なには）の宮」とも、「志賀の宮」とも、名に[B]ふりたるところをぞよみたきと候ひき。

「月前恋（つきのまへのこひ）」「寄月恋（つきによするこひ）」といふ題をも、人みな分かで、ただおなじさまによむこと、念なくや。月に寄するとて、ただ「月」といふ文字を借りつれば、寄せたるにてあるべし。「うはの空なるかたみにておもひもはては心かよはむ」などやうなるを、「寄せたる」と申すべきにや。「月の前」とは、さしむかひたるやうなるべきにや。

　恋しさはむなしき空にみちぬれば月も心のうちにこそ[C]すめ

といふ歌も、俊成卿、「月前恋」といふ題にてよまれたるとやらん。

また、「うれしかりけり」「かなしかりけり」といふ文字を、未練の歌よみは、つねにこのみよむなり。[D]げにうれしきこと、げにかなしきことならでは、つねによむまじきこととぞ申され候ひし。

（阿仏尼『夜の鶴』）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部Ａと同じ意味で使われている言葉を二つ、それぞれ四字で本文中から抜き出せ。ただし解答の順序は問わない。

問二　空欄［Ｘ］に入る最も適切な言葉を、本文中から五字で抜き出せ。

問三　傍線部Ｂを表す漢字として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

1　触　　2　振　　3　震　　4　旧

問四　傍線部Ｃ「すめ」は掛詞で、二つの意味がかけられている。それぞれの意味を、最も適切な漢字を用いて答えよ。ただし解答の順序は問わない。

「　　」と「　　」

問五　傍線部Ｄの意味として最も適切なものを次の中から一つ選べ。

1　少し　　2　本当に　　3　限りなく　　4　まあまあ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　筆者の主張に合致するものを、次の選択肢の中から二つ選べ。

1　歌を詠もうとする人は、何よりもまず、先人たちの歌を学ばねばならない。
2　四季の歌で作りごとを詠むことは、いかなる場合も認められない。
3　「月に寄する恋」という題の歌では、必ずしも月に直接向き合った状態を詠む必要はない。
4　「故郷」という題の歌では、東国の地名を詠むことは避けるべきである。
5　真実の感情に基づかない表現を歌の中で多用することは避けるべきである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十八講　復習問題

① 「いとやさしくこそ聞こえはべりしか」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　非常に優美なことと
イ　たいへんおもしろく
ウ　とても簡単そうに
エ　本当に真心を込めて

② 「げにげにしく」と類義の語として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いみじき　　イ　そぞろに　　ウ　おそろしき
エ　をこがましく　　オ　まことしく

③ 「ありし世の恨みも消えて白雪のふりにし人ぞさらに恋しき」の傍線部は掛詞である。漢字二つの組み合わせとして最も適当なものを、次の中から二つ選べ。

ア　降り　　イ　振り
ウ　震り　　エ　古り

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十八講　模範解答

問一　いつはり・なきこと
問二　苦しからず
問三　４
問四　「住め」と「澄め」（順不同）
問五　２
問六　３・５

〈現代語訳〉

まず歌を詠もうとする人は、物事に触れて感情を第一として、ものの情趣を理解し、いつも心を澄まして、花が散り、木の葉が落ちるのをも、梅雨や時雨で、（葉の）色が変わる季節にも、目にも心にもとどめて、歌の情趣を日常のふるまいにつけて、心に掛けるべきでございましょう。

また、四季の歌には、虚構を構えるのはよくない。ただ、ありのままのことを、優美にとりなして詠むべきである。恋の歌は、技巧的な表現、虚構が多いけれど、とくに不都合ではない。「（恋しくて流す涙で）枕の下に海はあるが」「胸は（煙を立ち上らせる）富士（のように恋の煙を立て）袖は（せき止めるはずの）清見が関（のはずが涙を止められない）」と詠んでも、ただ、（恋の）思いの切実な風情を言おうとして、どのようにでも喩えて言うようなことは、四季の歌と違っていて当然だ、と（夫は）申されました。

また、四季の歌の虚構も、方法によるにちがいない。僧正遍昭が「（露の）玉を貫く春の柳よ」など詠まれたのをはじめとして、「有明の月と見間違えるほどまでに吉野の里に降っている白雪」、花を「雲に似ている」とも表現することなどは、虚構ではあるが、本当にそのように思われることなので、不都合ではない。そうでなくては、存在しないことを詠んではいけないということも、よくよく理解し判断するべきであろうか。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

また、「故郷」という題で、「ふるさと」とだけ詠むことは、普通のことであるようだが、（題が「故郷」ではない）一般の歌でも、ふるさとなど詠むことであるので、特に「故郷」というような題では、「奈良の宮」とも、「難波の宮」とも、「志賀の宮」とも、名の通った所（＝昔の古い都）を詠みたいものだとございました。

「月の前の恋」「月に寄せる恋」という題をも、人は皆区別しないで、ただ同じように詠むことは、残念だろうか。月に寄せるといって、ただ「月」という文字を借りたので、寄せたことになるのでしょう。「（月だけが）空にあるあてにならない形見であるが、この思いも最後には心が通い合うのだろうか」などのようであるのを、「寄せている」と申すのがよいのだろうか。「月の前」とは、（月と）直接向き合った状態をいうのがよいのだろうか。

恋しさは…＝恋しい心が虚空に満ちたので、（虚空に浮かぶ）月も私の心の中に住み、（月の光も）澄んでいる。

という歌も、俊成卿が、「月の前の恋」という題で詠まれたとかいうことだ。

また、「うれしかりけり（＝嬉しいなあ）」「かなしかりけり（＝悲しいなあ）」という文字を、未熟な歌人は、いつでも好んで詠んでいるようである。本当に嬉しいこと、本当に悲しいことでなくては、いつも詠んではならないことだと（夫は）申されました。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十八講　解答解説

〔解説〕

① 「やさし」は重要単語で、「優美だ」「けなげだ」「つらい」などの意味。よって、正解はア。

② 「げにげにし」は「もっともらしい・真実である」「まじめである」などの意味。「まことし」も「本当らしい」「まじめだ」などの意味。よって、正解はオ。ちなみに「そぞろなり」は「むやみやたらに」「関係がない」などの意味、「をこがまし」は「ばからしい」「でしゃばりだ」の意味。

③ 「ふる（設問では「ふり」）」が掛詞であれば、選択肢にあるように「降る・震る・振る・古る（旧る）」などの中から意味を考える必要がある。設問の和歌では、上からのつながりが「白雪のふり」なので、一つは「降り」。下へのつながりは「ふりにし人」なので、「（知り合って）古くなった人」と考え「古り」を選ぶ。よって、正解はアとエ。

〔解答〕

① ア　② オ　③ ア・エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。